

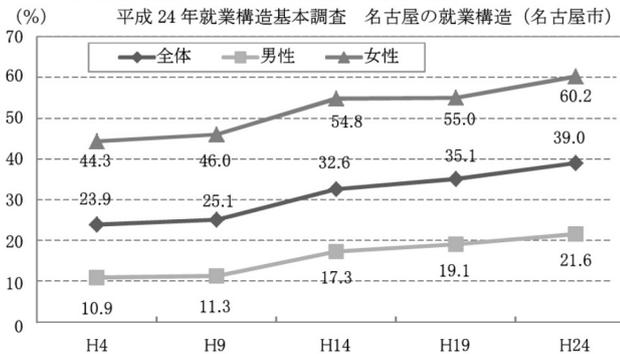
名古屋市政 2015年 データ集 脱貧困

増え続ける 生活保護・就学援助

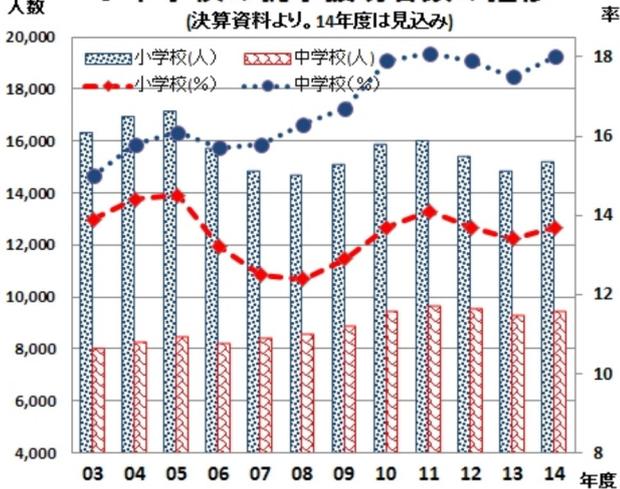
生活立て直し支援の職員は手一杯

名古屋市生活保護人数は10年前の2倍。大企業の派遣切りが横行した時に急増しました。予算額は約870億円。安倍政権が非正規雇用を容認する雇用政策をとっているためまともに働いても生活保護から脱却できない人が多くいます。対応する職員も国基準よりはるかに少なく、嘱託員でカバーしています。

男女別非正規就業者割合の推移 (名古屋市)



小中学校の就学援助者数の推移

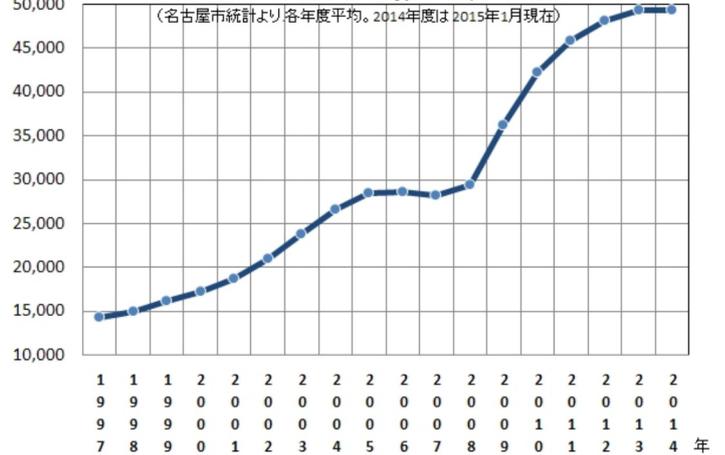


就学援助認定者数 (単位:人)

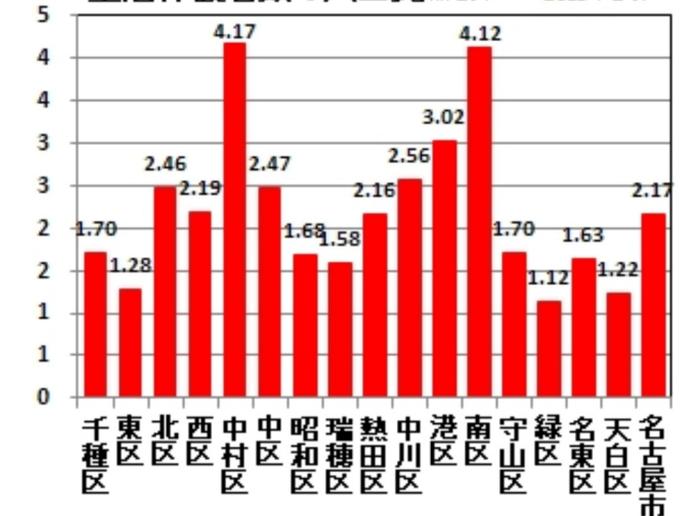
区分	24年度実績	25年度見込み	26年度予算	
小学校	要保護者	1,924	1,970	2,387
	準要保護者	13,456	12,870	12,801
	小計	15,380	14,840	15,188
中学校	要保護者	1,133	1,112	1,330
	準要保護者	81,391	8,136	8,060
	小計	9,524	9,248	9,390
計	要保護者	3,057	3,082	3,717
	準要保護者	21,847	21,006	20,861
	計	24,904	24,088	24,578

(注) 25年度見込みは26年2月末実績を基に算出

名古屋市の生活保護人数の推移



生活保護者数の人口比(保護率・%・2015年1月)



生活保護担当者数と国基準配置数 (2013年度)

